



(麿の系譜 その1) 廃線

近藤 善則

信越線が廃止されて、碓氷峠を越える横川 - 軽井沢間は繋がらなくなって久しいが、まだ鉄道はそのままになっており、ここをなんとか再び列車を走らせようという計画がある。横川駅には鉄道文化村として休日は子供たちの歓声で賑わうが、現在ここを管理している JR 東日本ではいまだに車両の走らない線路を保線の為に維持しているのだ。いわば観光の為に線路なのだが、新幹線で東京からあっという間に軽井沢に到着する現在、時代に逆行するようなこのような復活は楽しみで仕方がない。



この碓氷峠を越えた信州の軽井沢から、浅間山の東麓の分水嶺を越えて上州三原の吾妻川を渡り、再び北上して草津温泉に至る55.5キロがいわゆる草軽鉄道である。

大正4年から昭和36年まで活躍していた高原列車で、一度は乗ってみたかった線だ。蒸気機関車から電車に変わったものの、大雪や水害で幾たびか修復が必要になり、採算がとれなくなって廃線になった

という。先日のAGC山行は浅間山火山地形観察がメインテーマであったが、もう一つこの草軽鉄道廃線跡がサブテーマとして軽井沢駅の機関車展示、分水嶺である国境平付近の路線跡、北軽井沢駅跡などのほんのさわりだけを巡った。宿で観賞した映画「カルメン故郷に帰る」では浅間山山麓のこの地が舞台の日本初のカラー映画で、冒頭とラストにこの特異な形状の列車が出てくる。

さらに信越線がしなの鉄道と変わったこの先、上田駅を基点として幾つかの鉄道路線があった。現在唯一営業している上田電鉄別所線（上田駅～別所温泉）の他、青木線（上田原～青木）西丸子線（下之郷～西丸子）真田・傍陽（そえひ）線（上田～真田・傍陽）丸子線（上田～丸子）などだ。また小諸駅からは布引鉄道（小諸～島川原）という数年で消えた路線や幻の佐久諏訪電気鉄道（田中～茅野）という免許交付を受けただけの計画路線があった。

廃線になった原因には利用者の減少や経営破綻、新線開業などさまざまな要因があるのだろうが一度でも乗ったことのある路線には特別感慨深いものがある。

例会の議事録

10月定例会記録

2010年10月20日(水) 18:50~20:00 於JAC集会室A

出席者18名 北野,平野,近藤,片野,半田(明),半田(由),鶴田(泰),遠山,高橋,寺田(正),森合,大西,鈴木,川口,長谷川,渡辺,小松原,今井) 順不同

内容: 山行報告「浅間山北麓と草軽鉄道跡探索」10月2日、3日実施、参加者8名(関、鶴田実、高橋、上田、高田、長谷川、平野、近藤) 詳細は関会員によりAGCレポートvol40で報告済み。(高橋・近藤) 諏訪筆新任事務局長(No.12990茨城支部所属)着任挨拶。

有志要望による磐梯山の三等三角点新設の竣工式が10月16日に行われた。地元紙民報新聞の記事とともに報告。(平野) AGCで研究中の古代通信法の旗振り通信について新刊誌関西版に15回に亙り、柴田昭彦氏の記事が連載されている。大阪堂島と岡山間を11箇所経由で米相場の伝達方法として昭和30年代まで行われていた模様。(川口) 国土地理院関連の登山道調査に関して使用するメールアドレスが決まったとの情報があった。当会へは近日中、宮崎副会長から連絡がある模様。(小松原) 来春「地図と測量の科学館」にてJACが寄贈した今西錦司氏の地図を中心とした展示会が開催される。AGCに協力要請があるかもしれない(近藤)

山行計画「大菩薩峠」11月6、7日予定(川口) 終了後「鯨の家」で懇親会(17名)。以上(記録:今井)

お知らせ

次回の例会 (定例日ではありませんのでご注意ください)

日時 2010年11月11日(木) 18:30から
 於: 山岳会 ルーム
 テーマ: 山行報告 ほか

山岳漫画「岳-ガク」の映画化 来年東宝系で公開予定の山岳映画に期待する声大きい。原作では一話完結のシリーズだが映画となると幾つかのエピソードをつなぎ合わせた物語。「剣岳点の記」と異なりこちらは創作なので娯楽映画としても安心して鑑賞できそう

AGCレポート記念号の原稿

VOL-38にてお知らせした原稿の締切が近づいています 締切11月30日 WORDまたはTXTファイルで、近藤まで送付してください。テーマ「AGC」又は「三角点」字数: 約1000字、写真又は図版1葉 AGC全会員が執筆してください

AGCレポート vol-41 2010年11月1日発行
 発行: 日本山岳会・山岳地理クラブ(代表・北野忠彦)
 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付
 TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
 編集担当: 近藤 E-mail: hikarikon@nifty.com